

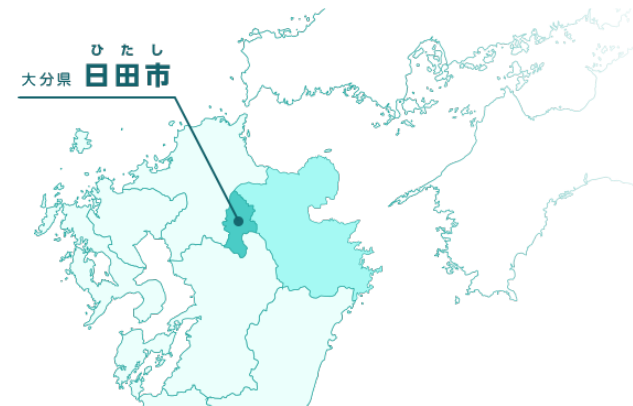
ぼうさいこくたい2024in熊本 チーム防災ジャパン セッション①

個別避難計画の最前線

～地域で、保健で、福祉で、学校で～

地域の関係者を巻き込んだ計画づくり

大分県日田市 福祉保健部 長寿福祉課



大分県日田市について

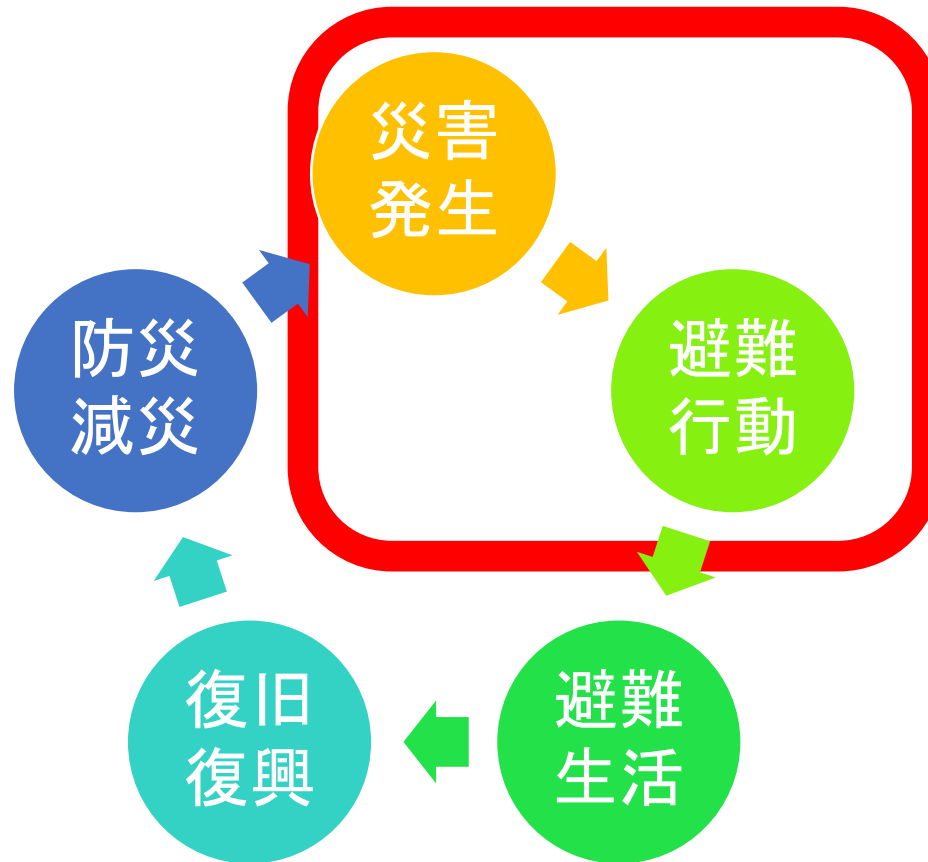
過去の被災状況

平成24年7月	九州北部豪雨	死者1名	負傷者1名
平成28年4月	熊本地震	死者0名	負傷者8名
平成29年7月	九州北部豪雨	死者3名	負傷者4名
令和2年7月	豪雨	死者1名	負傷者4名
令和5年7月	大雨	死者0名	負傷者1名

R2 日田市天瀬町赤岩 杉河内地区



- 犠牲者を出さなかったのは、地域住民みんなの力
- 普段からみんなが顔見知りで、どこに誰が住んでいるか知っていた。だからこそ、寝ているところを起こしてまで、みんなで避難することができた。
- 逃げるなら「みんな一緒に」が当然の考えだった。
- 自主避難所までの誘導方法について、1週間ほど前に確認していた。



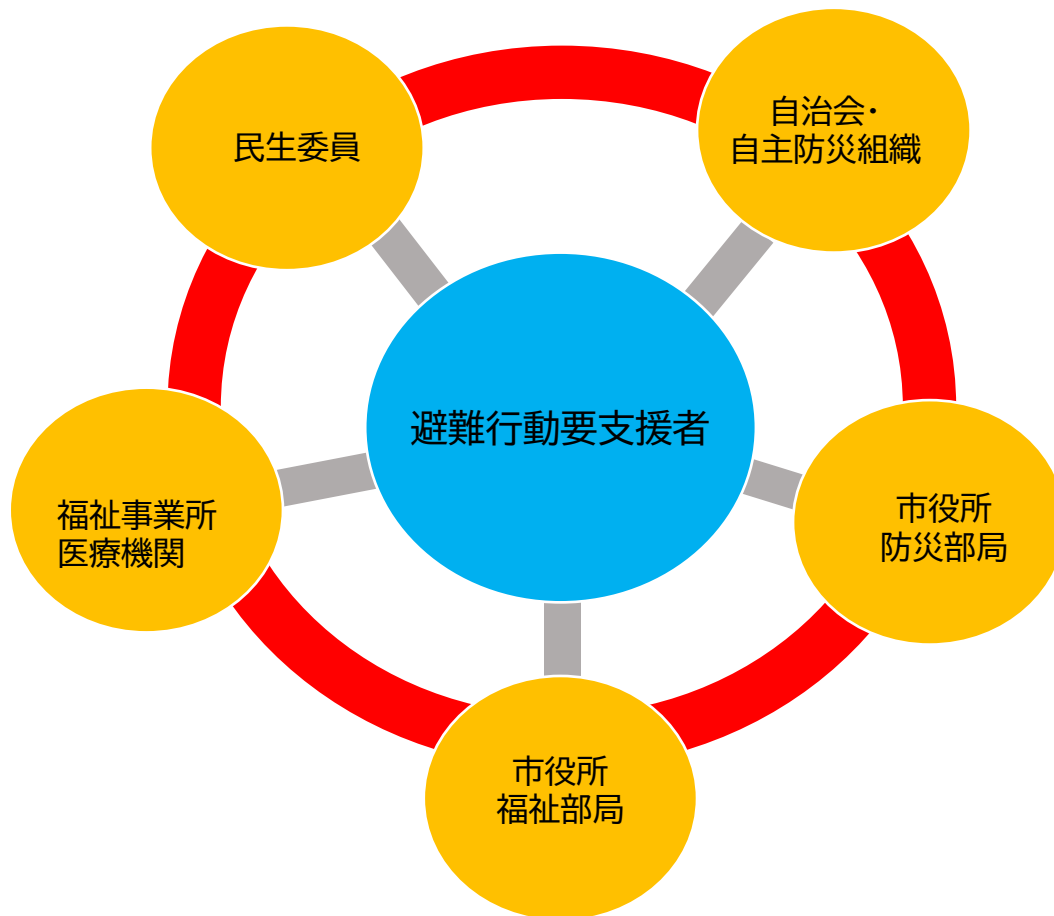
自助・共助の力が鍵！

「地域で」「みんなで」考える必要がある！

これまでの取組では
当事者を取り巻く様々な支援者が別々に支援していた
→支援者同士が繋がっていなかった



災害時の犠牲者0を目指すためには
「自分で助かる」だけでなく、支援者同士がタッグを組んで
「みんなで助ける」ことも考える必要がある！



大分県日田市の取組

避難行動要支援者本人「点」×地域「面」へのアプローチ

避難行動要支援者本人や家族におく

- ・住んでいる地域の災害リスクを知る
その上でどのように備え、行動するか考える
- ・普段から「何かあったら助けて」が言えるように
地域の人とつなげる
- ・いつまでも安心して地域で暮らすことが目標



地域（自主防災組織）におく

- ・地域での心配な人を把握する
- ・住民の避難行動の把握や安否確認について考える
- ・地域の避難所での受け入れについて考える
実際に試してみる（避難訓練）
- ・受け入れのための物品をそろえる
- ・この地域から犠牲者を出さないことが目標

大分県日田市の取組（まとめ）

個別避難計画は「地域づくり」

- ・「自立は依存の中にある」
- ・個別避難計画をきっかけに地域と「つながる」

みんなで考え みんなでつくる

- ・地域調整会議の開催
- ・顔を合わせて話すことで「その人のために何ができるだろう?」と知恵が出る

